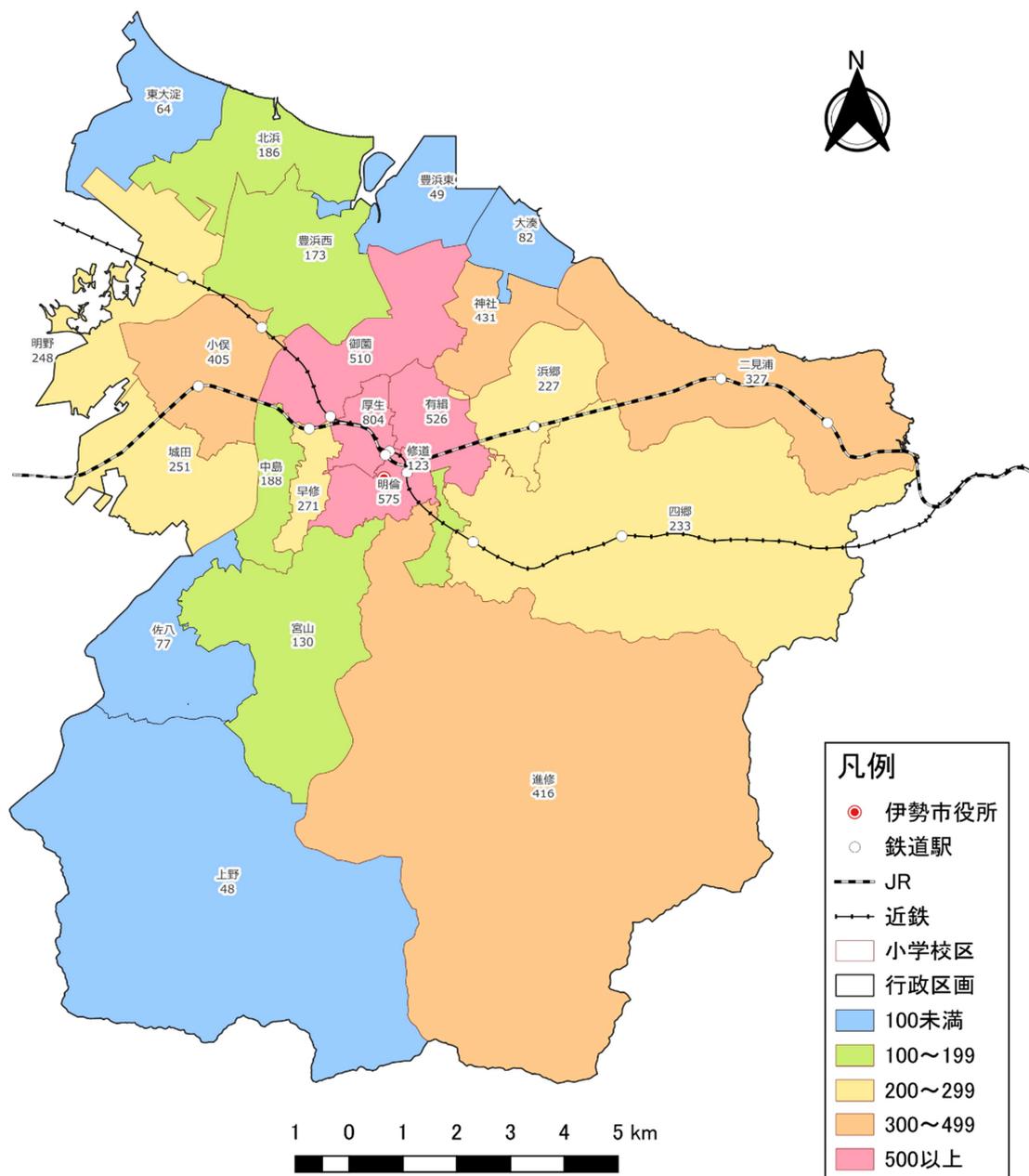


1-4-3 事業所・教育(通勤・通学)

(1) 地区別事業所数

鉄道駅から近く、中心地に隣接した御菌地区、厚生地区、有絹地区、明倫地区に 500 以上の事業所が立地しています。

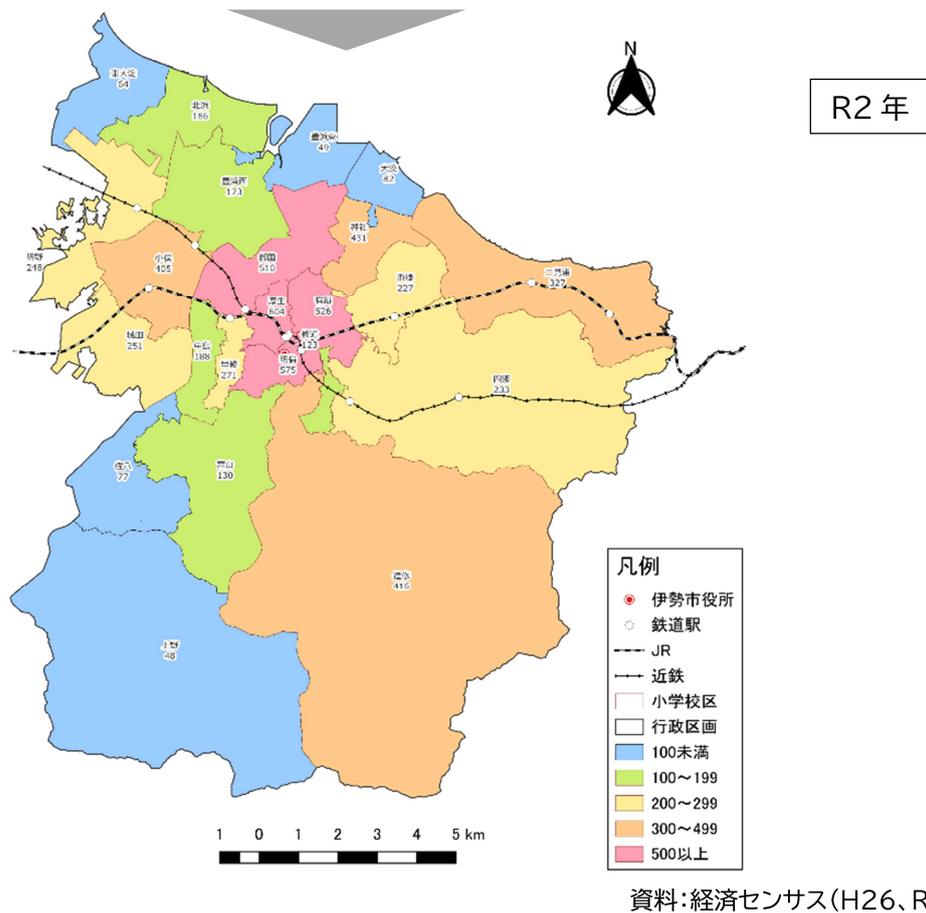
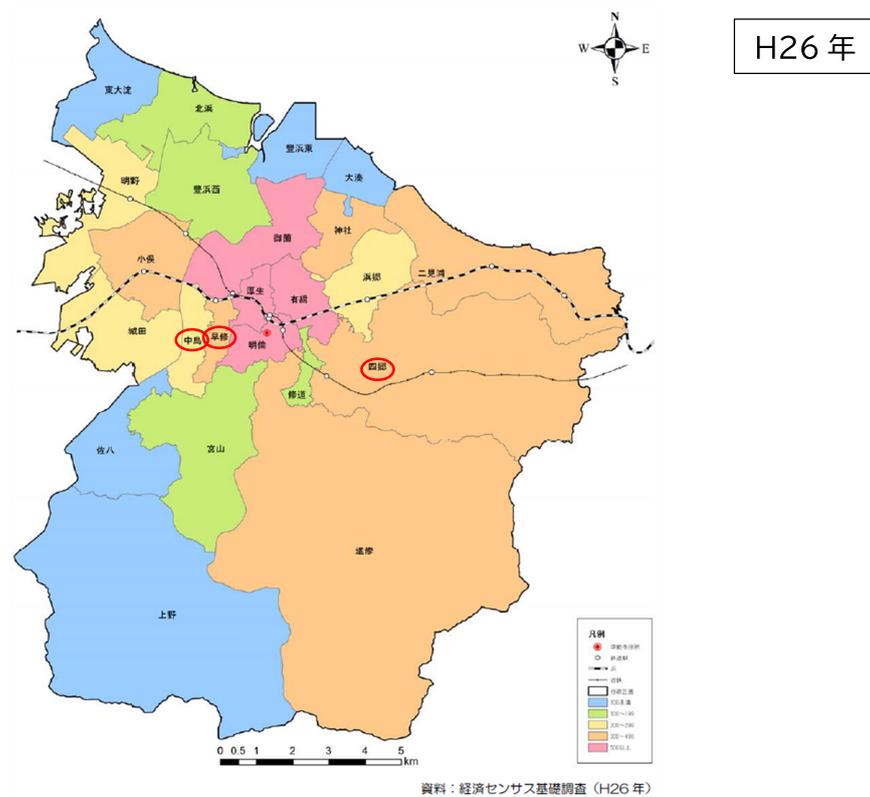
地区別事業所数



資料:経済センサス(R3)

H26年と比較すると、立地の傾向は大きくは変わりませんが、中島地区、早修地区、四郷地区で事業所数が減少していることがわかります。

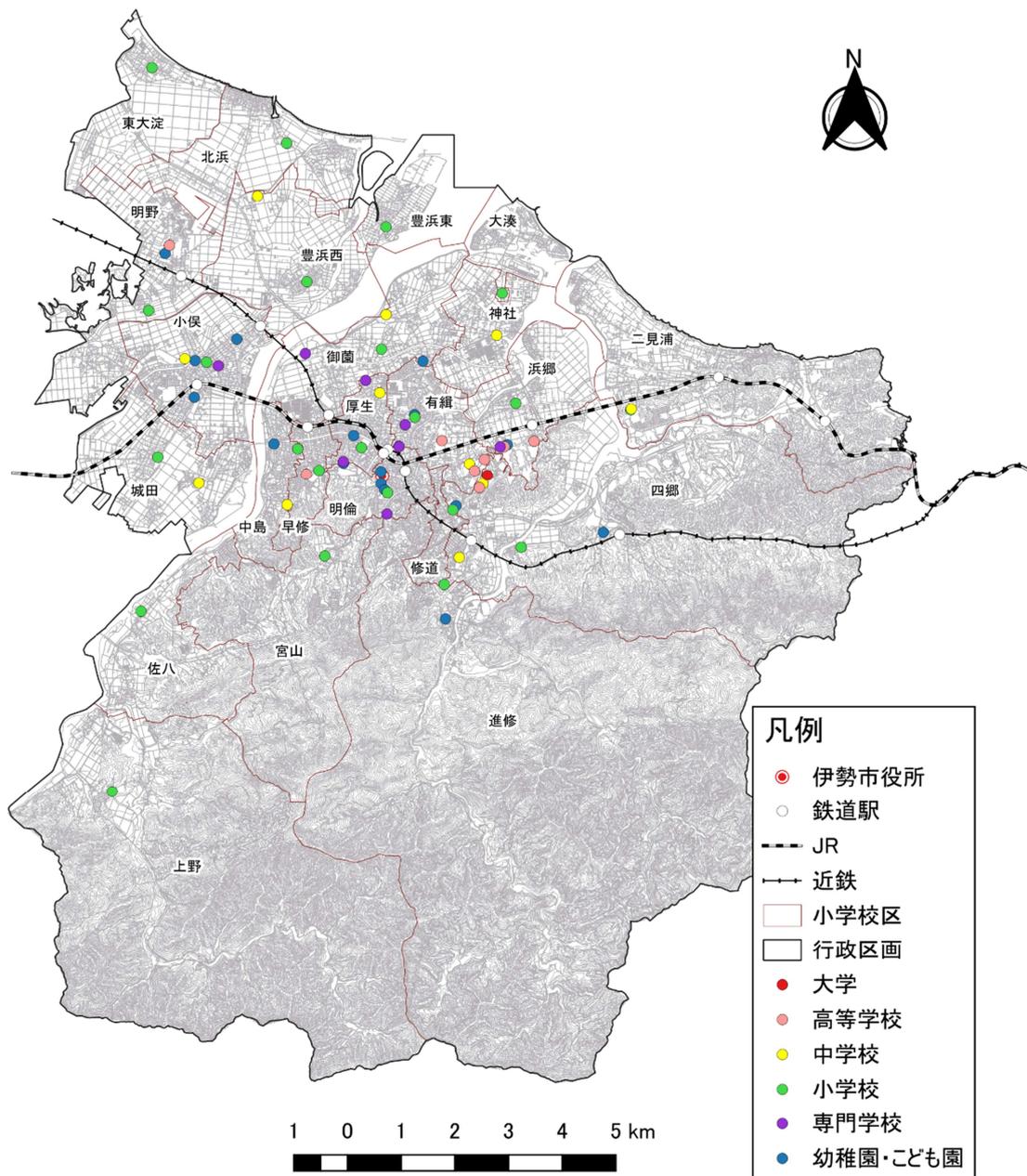
地区別事業所数の変化



(2) 教育施設立地状況

本市における教育施設は、幼稚園・こども園 16 園、小学校 22 校、中学校 11 校、高等学校 9 校、専門学校 8 校、大学 1 校が立地しています。

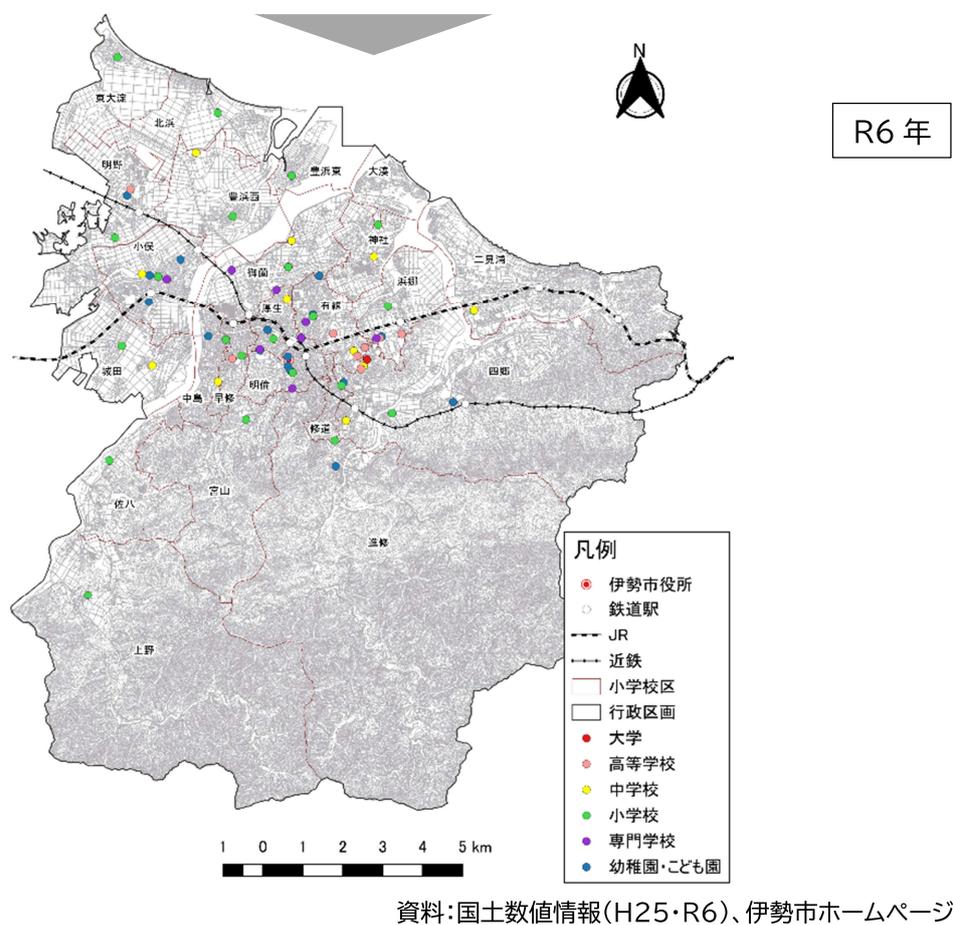
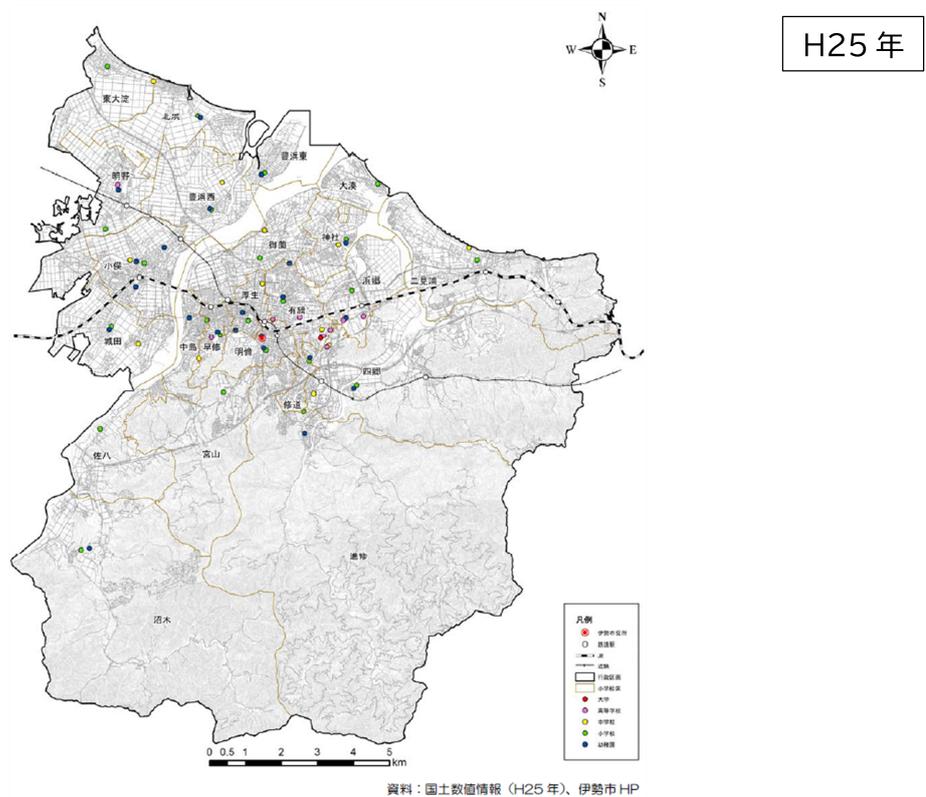
教育施設立地状況



資料：国土数値情報(R6)、伊勢市ホームページ

H25年と比較すると、公共交通の利用が想定される高等学校、大学については変化のないことがわかります(専門学校はH25年時点では未整理)。

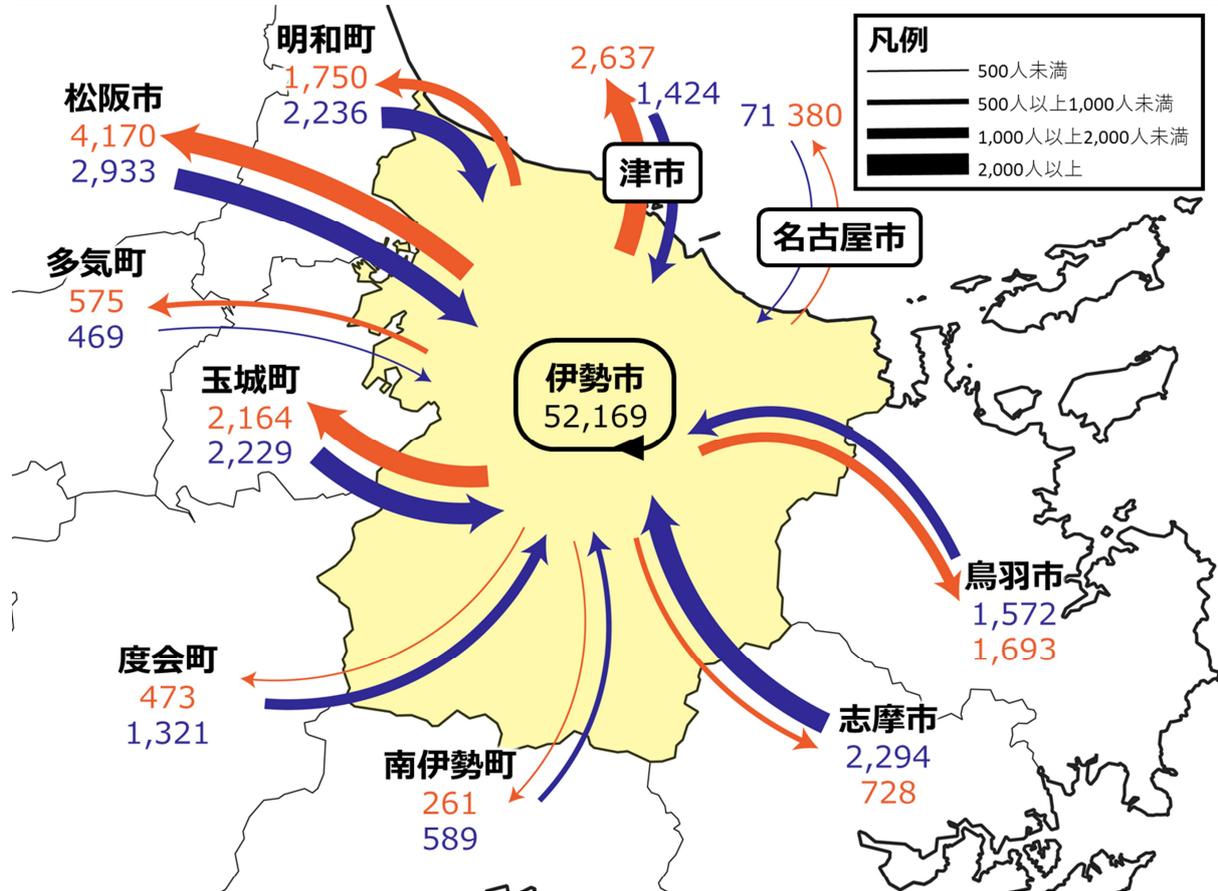
教育施設立地状況の変化



(3) 通勤・通学流動の状況

通勤・通学による流動は、市内での移動が最も多くなっています。また、市外への流出は松阪市が最も多く、次いで津市が多くなっています。一方、市外からの流入は流出と同様に松阪市が最も多くなっていますが、志摩市、明和町、玉城町からの流入も多くなっています。

通勤・通学流動の状況

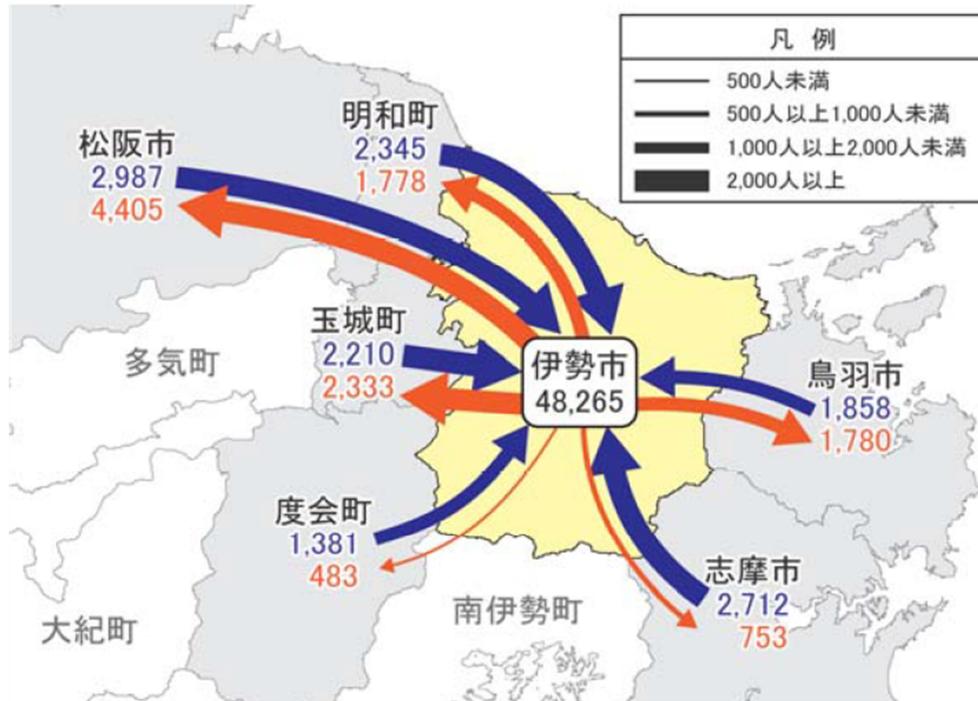


資料:国勢調査(R2)

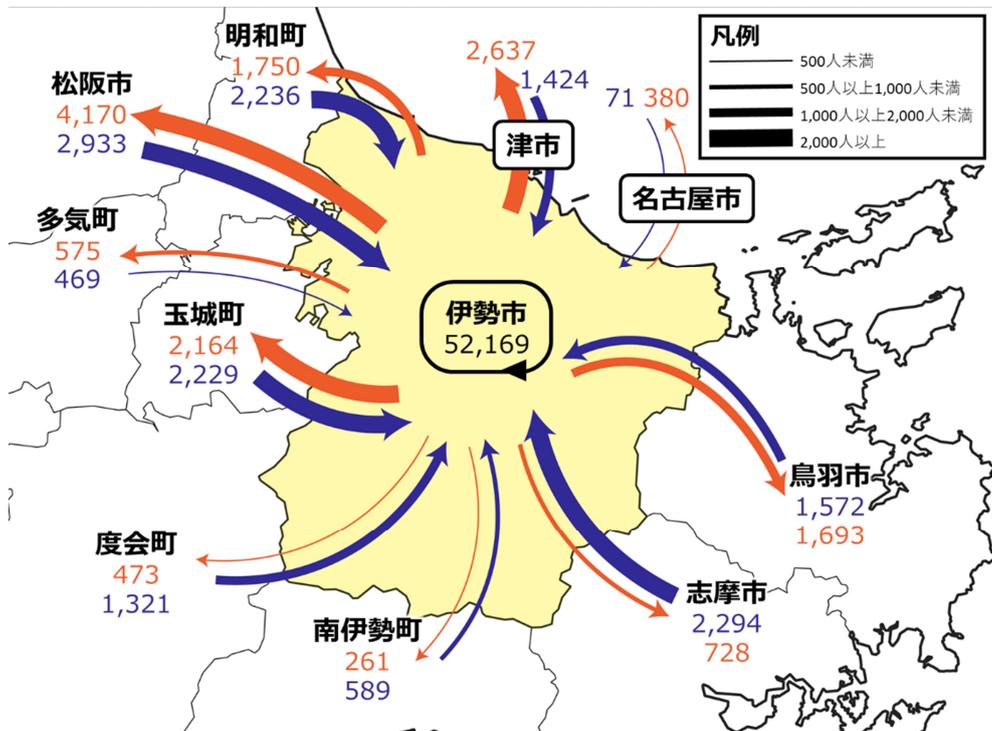
H27年と比較すると、総数に変化はあるものの、松阪市が流入・流出先として最も多いという傾向には変化がありません。

通勤・通学流動の変化

H27年



R2年



資料:国勢調査(H27・R2)

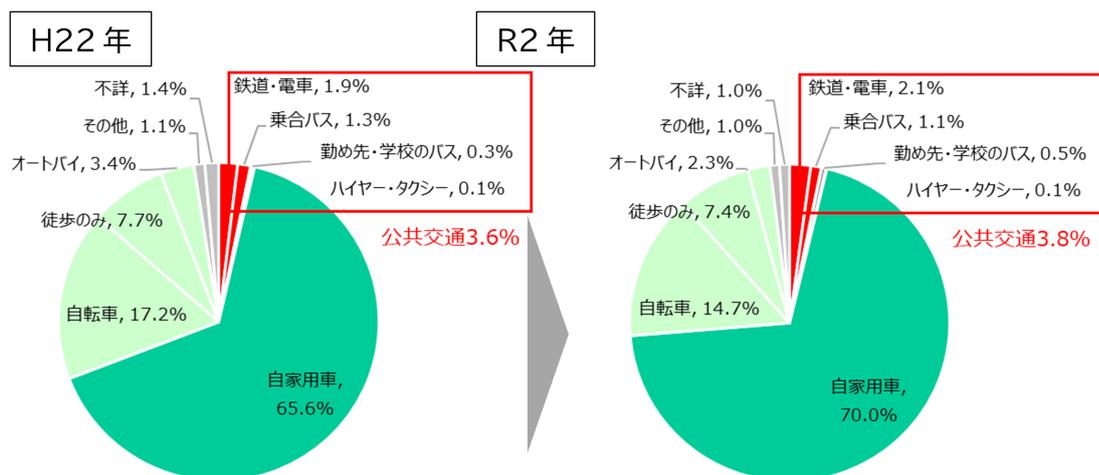
(4) 通勤・通学移動交通手段

① 市内の移動交通手段

本市内間での移動交通手段は自家用車が最も多く、全体の7割を占めています。次いで多いのは自転車での移動です。バス、鉄道、タクシー等の公共交通の利用は約4%です。

この傾向はH22年と変わりませんが、自家用車の利用率が微増し、自転車利用が微減、公共交通利用は3.6%から3.8%に微増しています。

市内の移動交通手段の割合の変化



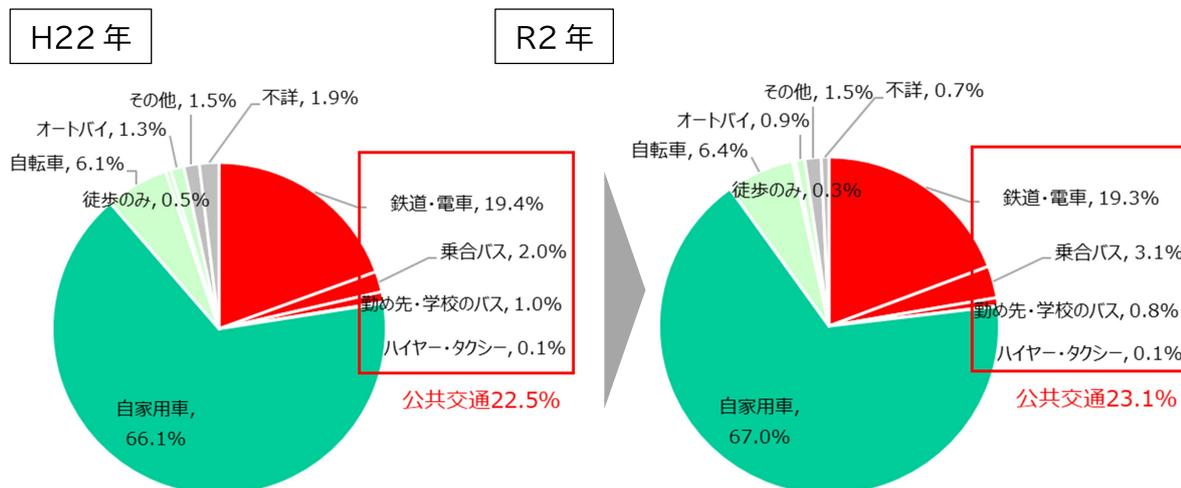
資料:国勢調査(H22・R2)

② 市外との移動手段

本市と市外との移動手段は自家用車が最も多く、全体の約7割を占めています。次いで多いのは鉄道・電車での移動です。バス、鉄道、タクシー等の公共交通の利用は約2割です。

この傾向はH22年と変わりませんが、自家用車、自転車の利用率が微増し、公共交通利用は22.5%から23.1%に微増しています。

市外との移動交通手段の割合の変化



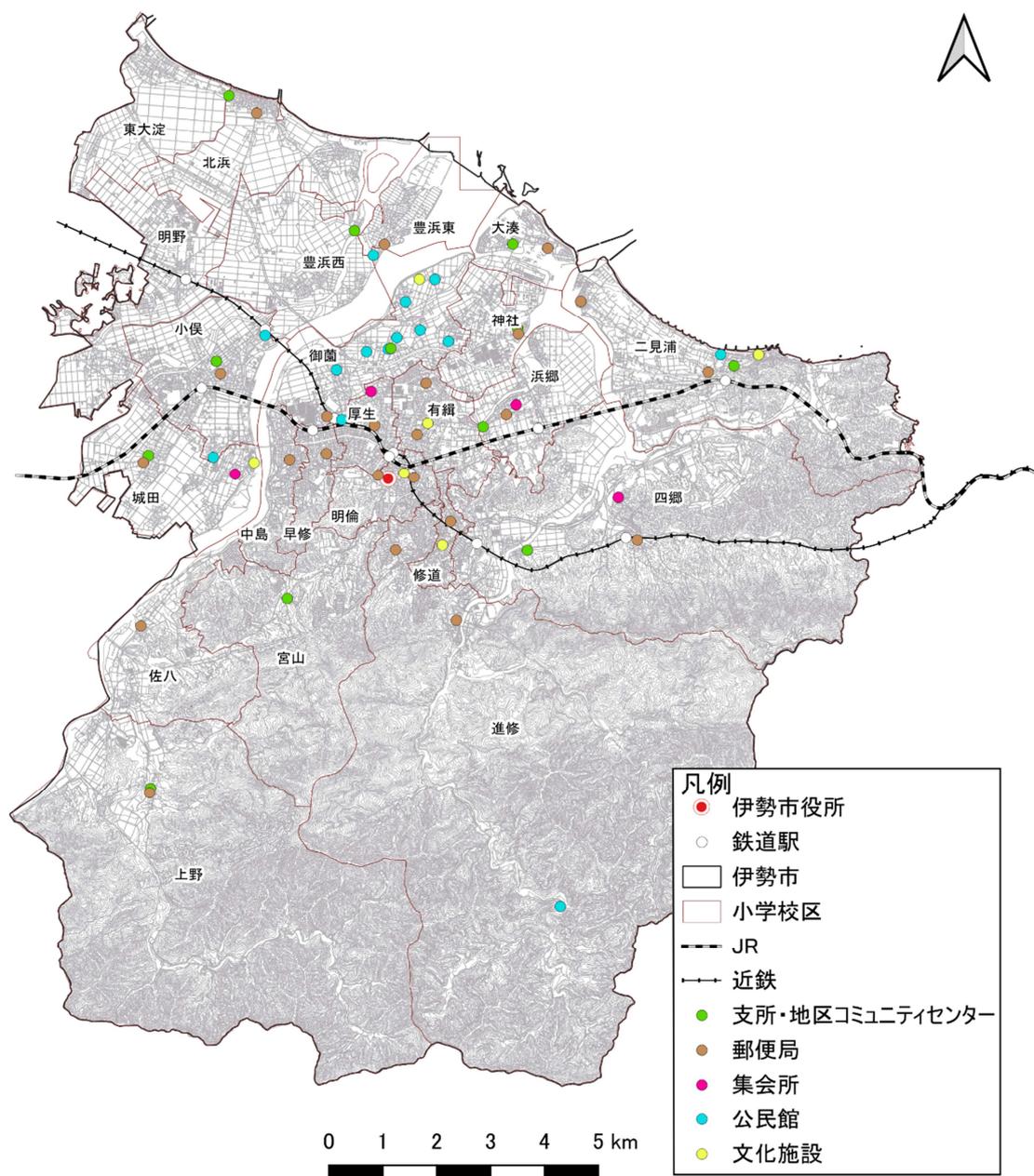
資料:国勢調査(H22・R2)

1-4-4 その他施設の立地状況

(1) 公的施設

本市における公的施設は、明倫地区に市役所が立地し、小俣地区、御薊地区、二見地区に総合支所が、北浜地区、豊浜西地区、大湊地区、神社地区、浜郷地区、四郷地区、城田地区、宮本地区、沼木地区の計 9 地区に支所・地区コミュニティセンターが立地しています。

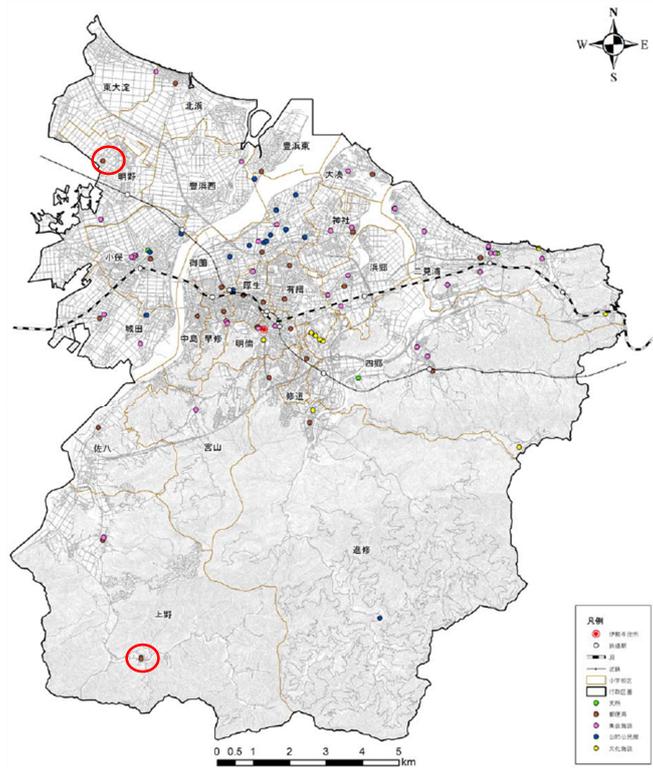
公的施設の立地状況



資料: 日本郵政(株)ホームページ、伊勢市ホームページ

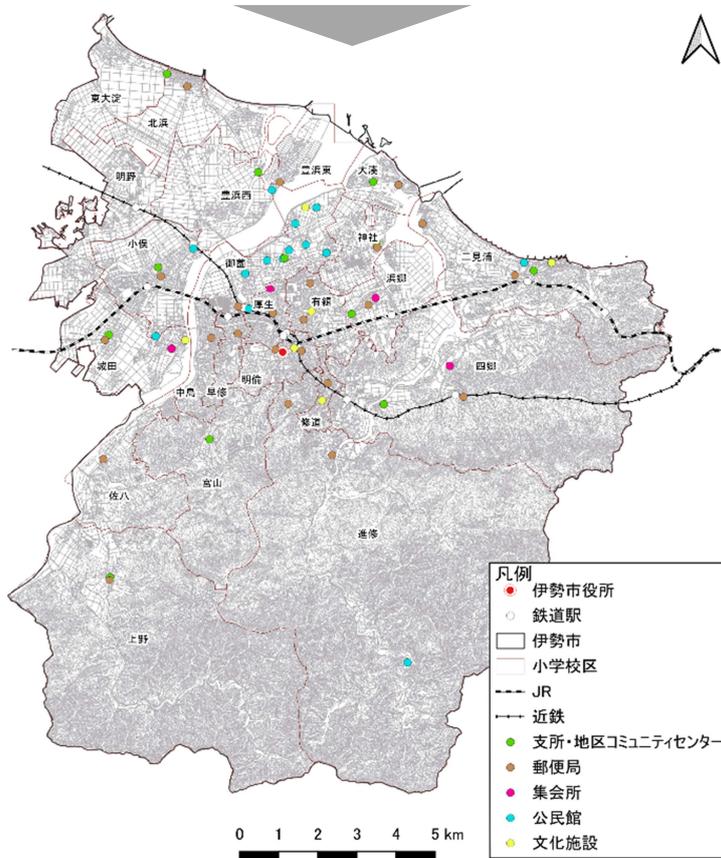
H18年と比較すると、明野地区、上野地区で郵便局が減少していることがわかります。

公的施設立地状況の変化



H18年

資料：国土数値情報（H18年）



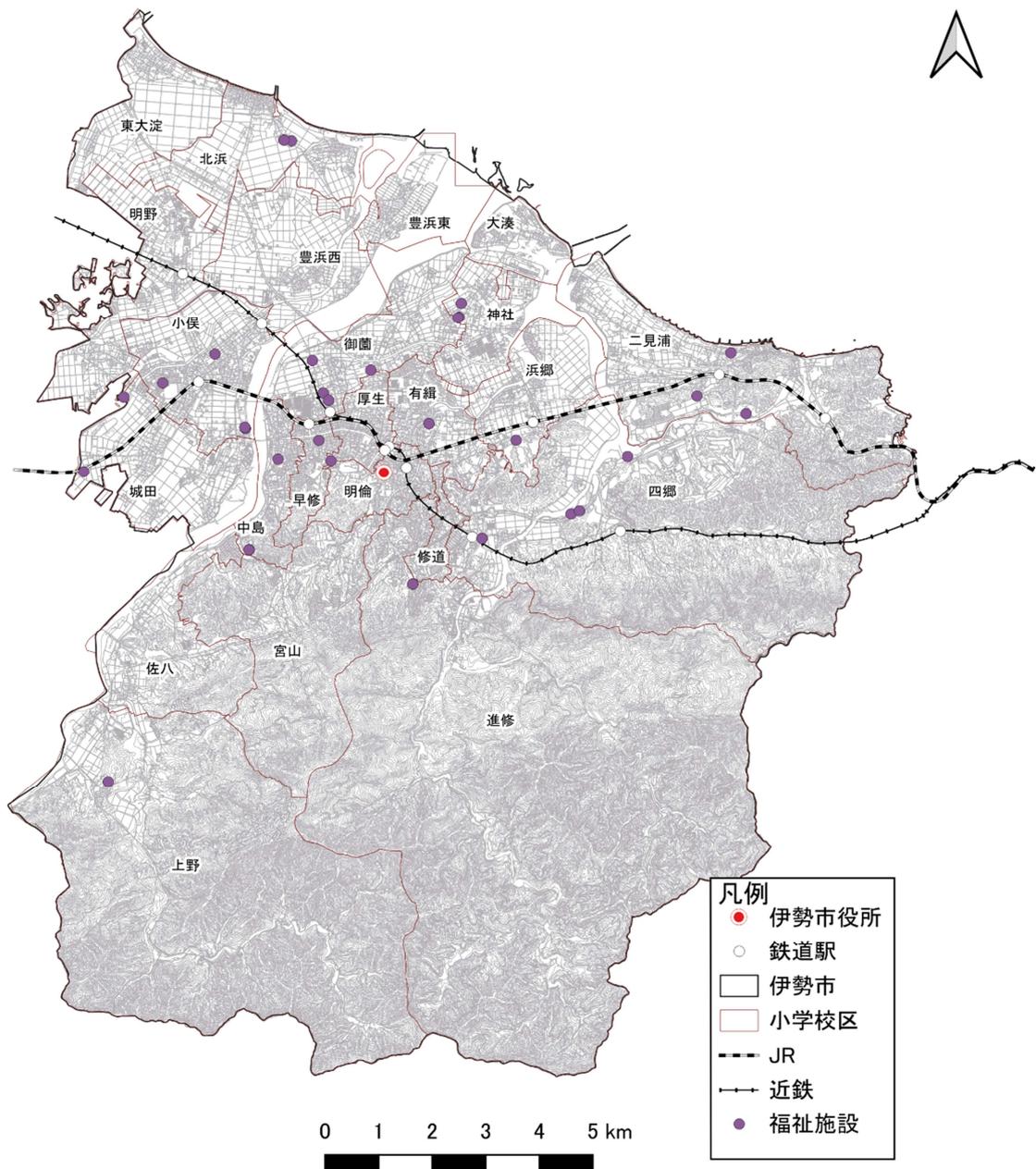
R6年

資料：国土数値情報(H18)、日本郵政(株)ホームページ、伊勢市ホームページ

(2) 福祉施設

本市における福祉施設(訪問・居宅介護、福祉用具販売・貸与を除く)は、市内に広く分布しています。

福祉施設立地状況

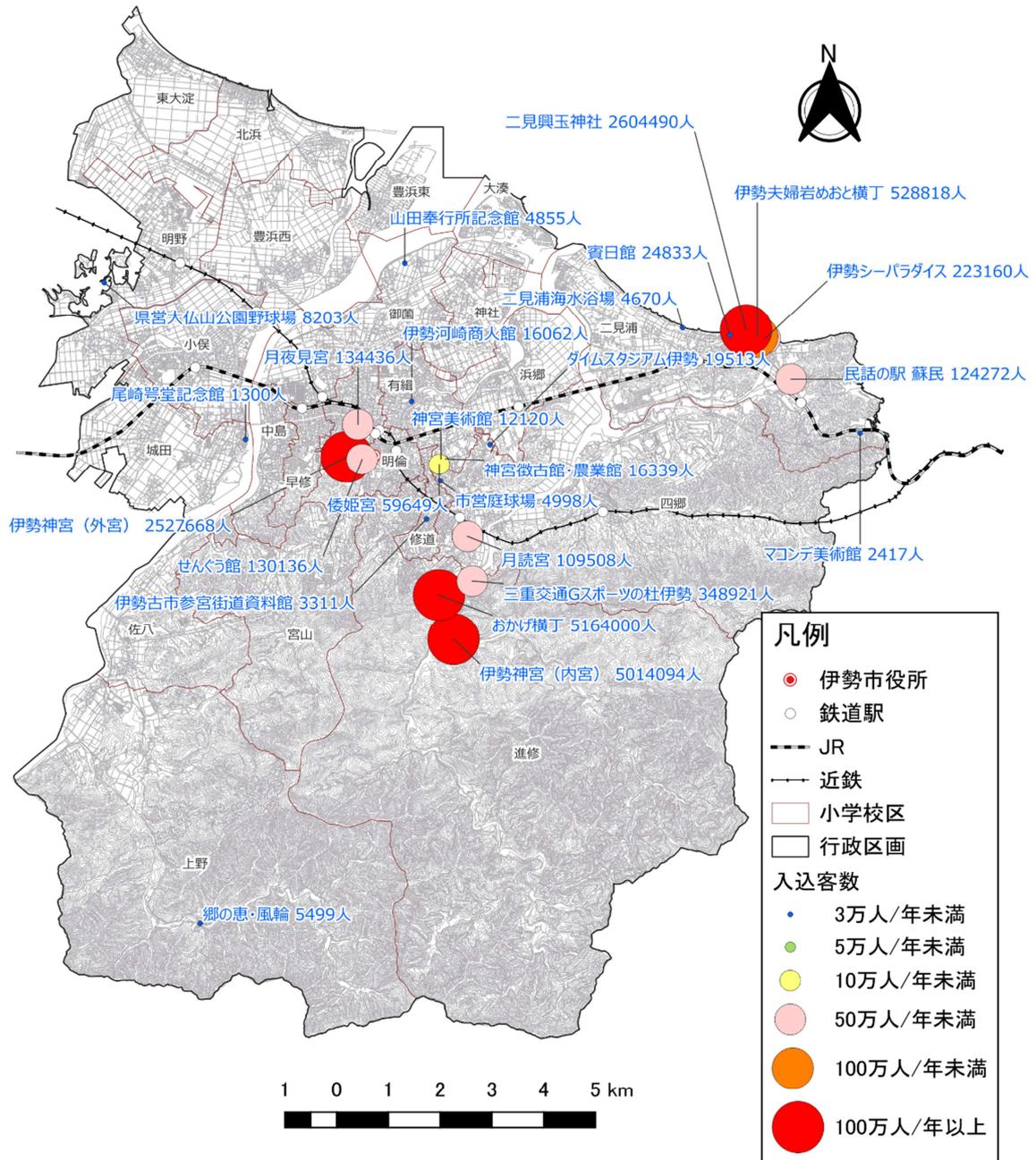


資料:三重県ホームページ、伊勢市ホームページ

1-5-2 主要施設の観光入込客数

本市の観光入込客数をみると、伊勢神宮(内宮)、伊勢神宮(外宮)、おかげ横丁、二見興玉神社に100万人/年以上の観光客が訪れています。次いで、伊勢夫婦岩めもと横丁に約53万人/年が訪れています。

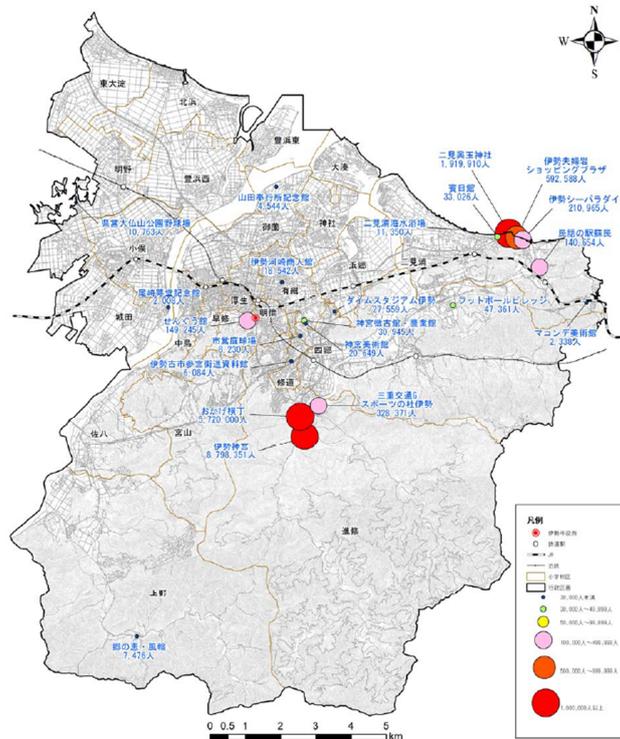
主要施設の観光入込客数



資料:伊勢市観光統計(R6)

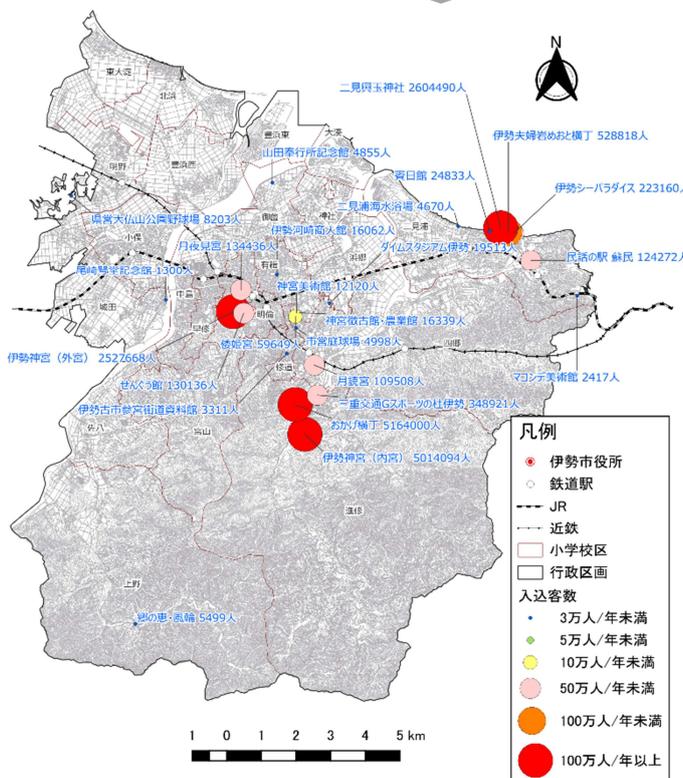
H29年と比較すると、伊勢神宮(内宮)、おかげ横丁、二見興玉神社は同様に100万人/年以上の観光客が訪れていることがわかります。また伊勢夫婦岩めもと横丁(旧 伊勢夫婦岩ショッピングプラザ)も約60万人/年の観光客が訪れていることがわかります。

観光施設の分布状況の変化



H29年

資料：伊勢市観光統計（H29年）

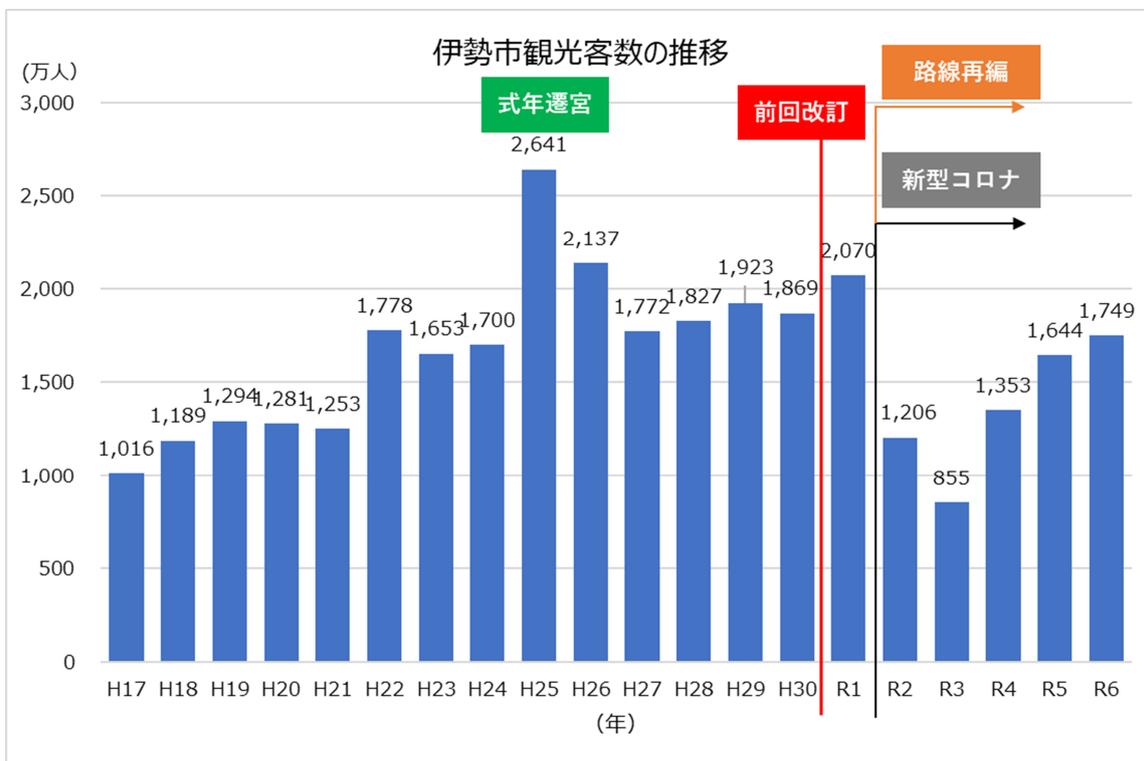


R6年

資料：伊勢市観光統計(H29・R6)

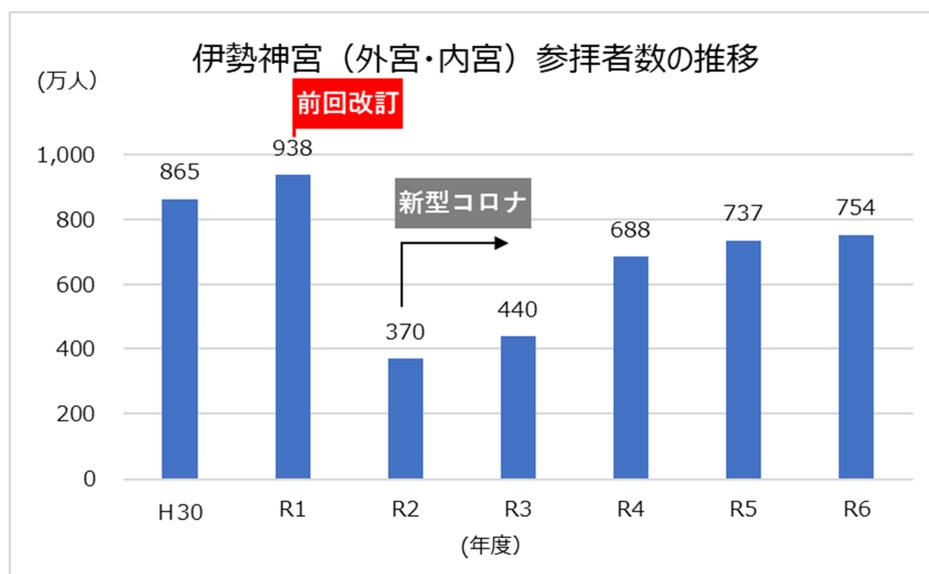
1-5-3 伊勢市観光客数の推移

本市の観光客数は H17 年以降増加傾向にあり、第 62 回式年遷宮が行われた H25 年に急増しました。その後、R1 年までは約 1,800～2,000 万人/年程度で推移していましたが、R2 年からの新型コロナウイルス感染症拡大により 855 万人/年まで落ち込みました。R4 年以降は増加傾向に転じましたが、前回の計画改訂までのレベルには回復していません。



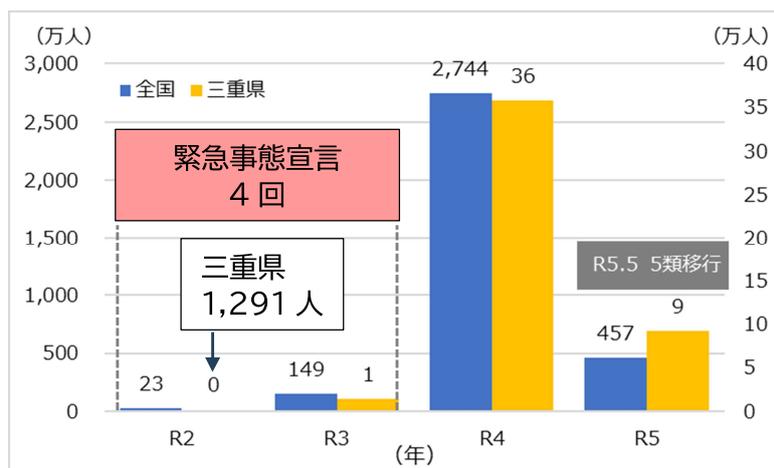
資料：各年三重県観光統計

伊勢神宮参拝者数は、R1 年度には約 900 万人/年を記録しましたが、R2 年度からの新型コロナウイルス感染症拡大により 370 万人/年まで落ち込みました。R4 年度以降は増加傾向に転じましたが、感染症拡大前の水準までには回復していません。



資料：伊勢市観光統計

参考:新型コロナウイルス感染症感染者数の推移



資料:厚生労働省ホームページ

緊急事態宣言(全国)

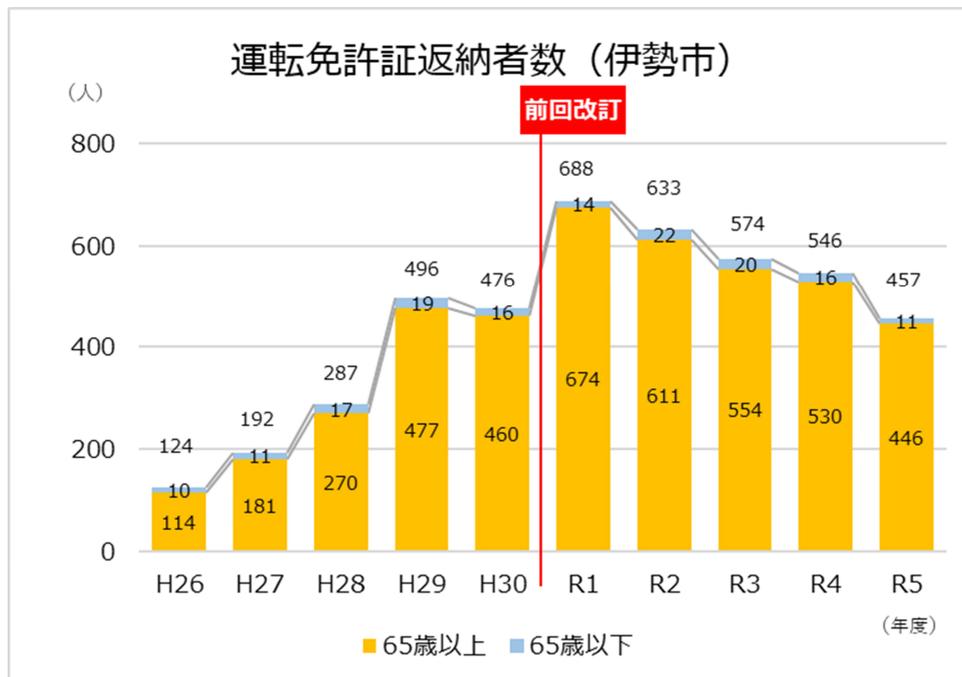
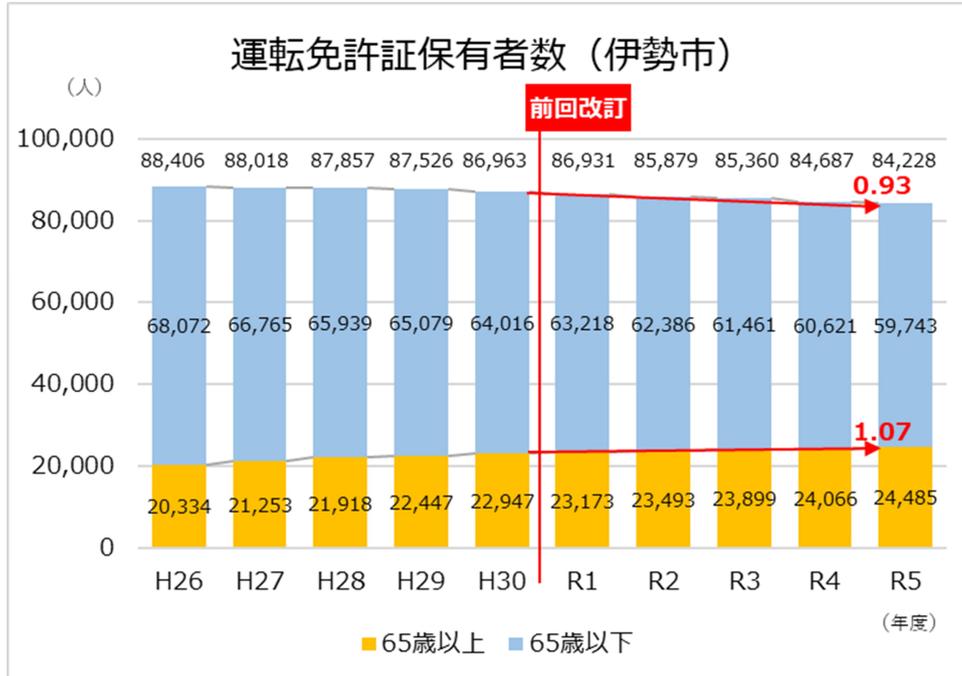
①R2年4月7日~5月25日、②R3年1月8日~3月21日、③R3年4月25日~6月20日、④R3年7月12日~9月30日

緊急事態宣言(三重県)

①R2年4月16日~5月14日、②R3年8月27日~9月30日

1-6 運転免許証保有者数・返納者数

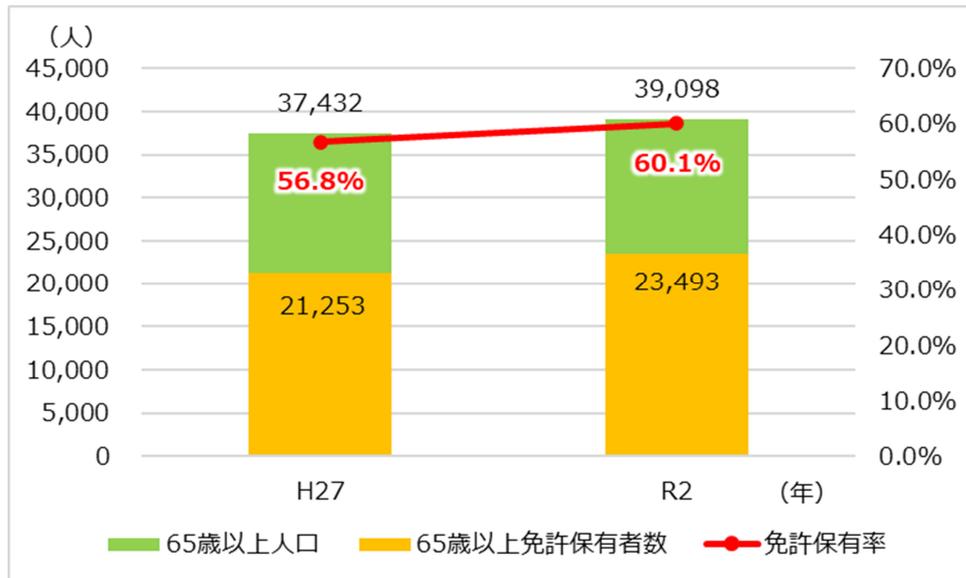
本市の運転免許証保有者数の総数は経年的に減少していますが、65歳以上の運転免許証保有者数は増加しています。また、運転免許証返納者数はR1年に増加したものの、その後、減少傾向にあります。R1年4月には池袋自動車暴走事故が発生しており、これが影響したものと想定されます。



資料:伊勢警察署提供データ

また、65歳以上の人口のうち運転免許証保有者数が占める割合は、H27年と比較してR2年では増加しています。

65歳以上の人口と運転免許証保有状況の変化(伊勢市)



資料:国勢調査、伊勢警察署提供データ(H27・R2)